

# 今様・草加宿エリア



### 今様・草加宿

近世初頭、江戸と奥州各地をつなぐ街道は、千住から八条・越ヶ谷へと大きく迂回していましたが、やがて幕府は千住・越ヶ谷間を最短で結ぶ新道を整備し、その間に近隣の村々からなる新しい宿駅の設置を命じました。草加宿の始まりです。

「今様」とは「今風の、現在視点での」という意味があり、スローライフの視点が盛り込まれています。

### 「道しるべ」がみなさんの「歓迎のお手伝い」をします。

今様・草加宿エリアの各所には、散策のお役に立てるよう、「道しるべ」が設置されています。散策ルートの目印にぜひご活用ください。

- みどころ
- 郵便局
- バス停
- トイレ
- WC
- 公園
- せんべい店
- 銀行・信用金庫
- 道しるべ
- パーキング
- せんべい店

### 草加まつりさきまつり

キャラクター

豆ちゃん くわいもん 芭蕉くん

### 夏の風物詩 草加朝顔市

例年7月初旬に、草加松原遊歩道において開催される伝統ある行事。販賣にはゆかた姿の草加さわかさんも参加予定です。

### 草加宿七福神めぐり

年のスタートは、家族揃って初詣!!

七福神めぐりとは、7つの災いを除き、7つの幸福を与える神々を巡拝して福運を折る行事です。

草加市では例年、元旦から1月7日までの7日間、新年の恒例行事として七福神めぐりが行われています。

### 和舟の舟行

市民活動団体「なかね舟の会」と連携して、平成28年4月から実施している体験型観光事業です。

綾瀬川において、江戸時代の物資の輸送など舟運が盛んに行われていた歴史的背景を踏まえ、木造和舟に乗船し、国の名勝に指定された草加松原を川面から眺めるなど、既存の観光資源を新たな角度から楽しめる事業であり、月に1回程度、乗船料無料で運船しています。

## 国指定名勝 おくのほそ道の風景地 草加松原

平成26年3月18日、松原芭蕉の「おくのほそ道」に関連する10県13件の名勝地が、後世の人々の風景観に影響を与え、今なお往時の雰囲気を伝える一連の風景景観として評価され、一群として国の名勝に指定されました。草加松原は、「おくのほそ道」にも登場する草加宿の北側に位置し、江戸時代から日光街道の名所として知られ、今なお「おくのほそ道」の時代の雰囲気を感じる優れた風景景観であることが評価されています。

### 松尾芭蕉も歩いた街道

元禄2年(1689)3月、今の歴では5月、江戸を抜いて千住に向った芭蕉は、そこで見送りに来た人たちに別れを告げ、日光街道第二の宿駅・草加にたどり着きました。「もし生きて帰らばと、定めなき頼みの末を、その日やうらうら(草加)といふ宿にたどり着きにけり」と、「おくのほそ道」の中で登場するのが草加です。芭蕉が草加に記したのは、人々の別れを惜しみ、宿の南の崖に「芭蕉」を刻みながら、第一「目」のたどたどしさを強調するたがったのではないといふ説もあります。

現在634本ある松の中には、古木が60本程度存在します。一目見てわかるその姿は、幹周り2メートルに及ぶもの、綾瀬川に大きくせり出しているものなど様々です。古木の佇まいを楽しみながら、草加松原を歩くのも一興です。

## 草加八景

市制30周年を記念して昭和63年(1988)に市民からの公募により選定されました。

- 日光街道草加松原
- 商店(おたな)河岸(現在は石碑のみ)
- 葛西用水の桜並木(久伊豆神社以南)
- 森と桜の並木(北谷一丁目と小一丁目目の間)
- 辰井川十橋
- 綾瀬川の桜堤
- 浅間神社境内
- 東福寺境内

### 草加の特産物

草加の枝豆は昭和30年代から本格的に栽培され始め、市内全域で盛んに生産されています。特長は「甘みのある味の良さ」です。7月上旬に出荷のピークを迎え、収穫は8月中旬頃までとなります。

草加では明治時代から始まったとされる「小松菜」が、冬に収穫される緑黄色野菜として人気です。早くから「オアシス栽培」で、一年中安定した栽培が行われています。冬場の小松菜は葉肉が厚く、あくが抜けて美味しく、甘みが出ておいしさが増します。

### 見学・体験

※見学・体験には予約が必要ですので、各店舗にご確認ください。

- 見学
  - 地球儀 株洲刃具製作所 048-936-0339(福箱3-20-14)(火10時~16時開館)
  - 地球儀 株洲刃具製作所 048-931-7399(松江2-11-1)
  - 金属製品 ヒガノ 048-931-3321(青柳3-24-7)
  - 紙製品 森紙器 048-936-9321(青柳2-11-43)
  - 金属機械部品 株洲製作所 048-931-1125(青柳1-5-58)
  - 金属メッキ製品 株洲セル 048-922-2251(吉町2-5-44)
  - 自動包装機 株洲製作所 048-925-1573(谷塚上町434)
  - 襪機 株洲池模紙工場 048-925-1245(新里町1355)
  - 精密金属加工 株洲三精機 048-925-5630(柳島町565-17)
  - せんべい水櫃 アークプロジェクト 048-942-3665(北谷2-7-15)
- 体験
  - せんべい 株いけだ屋 048-922-2061(吉町4-1-40)
  - せんべい 草加せんべい志免屋 本店 048-931-2666(神明1-11-1)
  - せんべい 皮革 伝統産業展示室・売店「ぱりっせ」048-931-1970(松江1-1-5 草加市文化会館内)
  - せんべい 餅一福本店 0120-037-129(青柳2-16-18)
  - せんべい 株山春煎餅本舗 048-941-1000(金明町790-2)
  - 豆腐 株松原食品 048-936-5864(中根2-19-11)

## 草加の3大地場産業

草加市の名産品といえば、草加せんべいがあるが、長い伝統を誇るゆかた染め、高品質の皮革製品なども、歴史とともに育まれてきた地場産業です。

### 草加せんべい

せんべいといえば草加せんべい。こんがり焼けたうちま100%の生地に、しょう油の香りがたまりません。

草加せんべいは、地域団体商標に登録されており、(一社)本場の物ブランド連盟の食品ブランド「本場の本物」に認定されています。

### 皮革

昭和初期より、草加では皮革を扱う業者が多く、原皮の扱いから染色・裁断・縫製、最終製品までの工程がすべてそろっています。扱う皮革の種類が豊富で、バラエティ豊かな製品を販売しています。

ゆかた染め

県の伝統的手工芸品に指定されている伝統産品。「東京本染めゆかた」のブランド名でおなじみです。注染技法により深くあざやかに染められた反物や手拭いは、眺めのこない銘品です。

これらは!ココで買うことができます。

### 伝統産業展示室・売店「ぱりっせ」

草加市文化会館1階に常設され、草加の3大地場産業であるせんべい・皮革・ゆかた染めの歴史や製造工程の展示紹介をしています。

また、地場産品の販売や、せんべいの手拭い体験、クラフト体験教室(要予約)なども行っています。

DATA

- 10:00~17:00
- 毎月第1水曜日・年末年始
- 草加市松江1-1-5 草加市文化会館内
- 東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅下車徒歩5分
- 048-931-1970

## 草加の街の見どころを紹介 旧日光街道と草加宿

草加宿は、千住から7里8町、かつては東北地方の諸大名が参勤交代で往来し、松尾芭蕉が通った道でもあります。歴史を感じながらのウォーキングは、いかがでしょうか。

### 東福寺

慶長11年(1606)に、賢有によって創建されたと伝えられています。本堂・山門・鐘楼とも江戸後期の建造物で、本堂の内外障間の彫刻欄間のほか山門と鐘楼は、市の指定文化財です。

### 浅古家の地蔵堂

江戸時代の豪商・浅古家が赤堀用水を築いてきた地蔵を拝上げ、子育ての地蔵として祀ったものといわれています。平成25年6月21日に国の登録有形文化財に登録されました。

### 河合曾良像

市制50周年を記念して、おせん公園に建立されました。河合曾良は「おくのほそ道」の旅に際して芭蕉の門人です。

### おせん茶屋公園

旧日光街道に面し、昔風の茶屋をイメージした公園です。かつては、おせん茶屋の跡地があり、おせん公園の由来があります。

### 草加駅前東口広場

おせんさん

草加駅東口のアカス広場の、せんべいを焼いている女性像です。

### カーソンプラザ

アメリカ合衆国カリフォルニア州カーソン市との国際姉妹都市交流25周年を記念して命名されたイベント広場です。

### 神明宮

『草加町見聞書』によれば、元和年間初葉(1615頃)に祀られたのが始まりで、安永6年(1777)に木造八幡神社を祀ったことにより現在の神社名となったと伝えられています。

### 八幡神社

『草加町見聞書』によれば、享保年間(1716~36)に八幡神社を祀ったのが始まりで、安永6年(1777)に木造八幡神社を祀ったことにより現在の神社名となったと伝えられています。

### 回向院

浄土宗の寺院で、本堂内陣には阿弥陀尊の像、普賢尊と法華上人の像が安置されています。外陣には松原上人の像が安置され、不動明王尊の像が安置されています。

## 札場河岸公園

草加松原南端にある、かつての「河岸」の面影を今に再現する公園です。園内にはかつて舟運で賑わった河岸場が復元されているほか、高さ12.5m(礎礎の石垣を含む)の五角形の壁が建てられています。また、お休み処「草加宿芭蕉庵」も設置されています。

### 甚左衛門堰

伝五川の二連アーチ型のレンガ造りの水門で、灌漑や洪水の時に使用された堰で、現存するものは明治27年(1894)に再建されたもので、埼玉県の指定文化財です。

### 正岡子規句碑

奥の細道成立300周年を記念して建立された。像は右手に杖を持ち、笠を肩にかけ、友人や門弟たちとの別れを惜しむように、千住方面を振り返る「見返る姿」です。

### 水原秋桜子句碑

『草加宿草加煎餅を干しにけり』

### 草加松原【国指定名勝】

草加松原遊歩道に2つある大型の橋の1つです。昭和61年(1986)に建設され、橋名は「おくのほそ道」の「月日は百代の過客にして」にならんで名付けられました。橋の上からは松並木の眺めがよく、絶好のビューポイントとなっています。

### 失立橋

草加松原遊歩道に2つある大型の橋の1つです。平成6年(1994)に建設され、橋名は「おくのほそ道」の「行春舟鳥鳴魚の目は是を失したの初して」にならんで名付けられました。

### 漸草庵 百代の過客

日本学研究所のドナルド・キーン氏から命を預けたいいた木造平屋建ての茶室建築。茶道・華道・書・三味線など、草加の和文を発信するの場です。

また、同施設内には、市内外から訪れた方のためのお休み処もあり、有料で茶室サービスも行っています。

DATA

- 10:00~16:00(お休み処)
- 048-931-9325
- 10:00~16:00(お休み処)
- 9:00~21:30(資料館の開放時間、松の間の開放時間)
- 第1水曜日、年末年始

## 歴史民俗資料館

国の登録有形文化財

草加市の観光・産業・歴史文化に関するスポットやイベント情報のご案内のほか、ガイドボランティア「草加宿案内人の会」によるまち歩きガイドの受付窓口などを行っています。また、デジタルライオンやARフラッシュバックも設置しておりますので、草加市の観光情報やイベント情報などを求める際は、ぜひ草加市観光案内所へ。

DATA

- 9:00~16:30
- 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始
- 草加市住吉1-11-29
- 東武スカイツリーライン 草加駅東口下車徒歩7分
- 048-922-0402

### 草加市観光案内所

草加市の観光・産業・歴史文化に関するスポットやイベント情報のご案内のほか、ガイドボランティア「草加宿案内人の会」によるまち歩きガイドの受付窓口などを行っています。また、デジタルライオンやARフラッシュバックも設置しておりますので、草加市の観光情報やイベント情報などを求める際は、ぜひ草加市観光案内所へ。

DATA

- 10:30~17:00
- 年末年始(12/29~1/3)、草加マリーの休館日
- 草加マリー1階
- (草加市高砂2丁目9-1)
- 東武スカイツリーライン 草加駅東口下車3分
- 048-999-5970

### そうかのガイドは「草加宿案内人の会」におまかせください

街を歩くと、かつての宿場の雰囲気を感ぜさせる商家と白壁土蔵が現れ、寺院には文人墨客たちを偲ぶ碑も、札場河岸公園は松尾芭蕉像に始まる文化と文芸の表現場でもあり、数百年の年齢を刻む松原の古木たちは、往来人の喜怒哀楽の表情を語ってくれます。この魅力と松原の風色を来訪者に紹介するのが、私たちの仕事としたい。グループの希望に合わせてコースを設定しております。

案内所は5人以上のグループで、事前に申し込みが必要です。

【申し込み・問い合わせ】

草加市観光案内所

- 048-999-5970
- 10:30~17:00
- 年末年始(12/29~1/3)、草加マリーの休館日